



笑顔いっぱい

令和6年度2月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

武雄市教育大綱

文責 田崎 正剛



【学校教育目標】

夢と志をもち、意欲的に取り組み、自己肯定感に満ちた児童の育成

【児童の合い言葉】

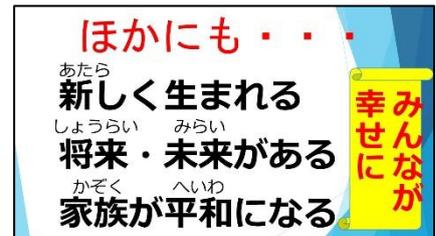
ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

今年の干支のように

2学期後半が始まったすぐの頃、教室を回ると学習面と生活面の3か月の目標を書いている子どもたちが多くいました。冬休みに出していた「4か月間の自分を振り返り、3か月の目標を立てること」の宿題をしっかりと考えてくれたのだらうと思いました。

さて、今年巳年。生き物としては「蛇」です。古来より豊穰や金運を司る神様として祀られたり、たくましい生命力や脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルとされたりしています。「巳」の漢字は、「お腹の中の胎児」の形が由来だそうです。「新しく生まれてくる」、「将来・未来がある」、「子孫繁栄」、「家族が平和になる」といった意味があります。

全校集会では、上記のことに触れ、今の自分にできる「みんなが幸せになる」気持ちを持ったり行動をしたりしてほしいと話しました。



ふれあい道徳

1月24日（金）にふれあい道徳の授業参観を行いました。多くの保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。

週1時間の道徳の授業は、昨年の学校だよりでもお知らせしたように、1時間の学びを1年間（6年間）積み上げることによって、洋服ダンスに様々な種類や色の服などを蓄えていく時間です。そして、日々出合う出来事にどんな服を着るかコーディネートできるようにすることです。

ふれあい道徳は、参観者参加型の授業や保護者・地域の方を講師として活用する授業をすることになっています。子どもとともに考えたり議論したり自分の考えを伝えたりすることで、さらに多面的・多角的な見方・考え方を養うことができます。そして、何気ない家族の会話として「あいさつは1日どれくらいしているのだろうか」「自転車のヘルメット義務化は必要だろうか」「規則やルールは何のためにあるのだろうか」「家族で楽しく過ごすためにはどうすればよいか」など各家庭で道徳教育が話題に出るようになれば幸いです。



もうすぐ1年間終了

1月が終わると、6年生は卒業式まで28日、1～5年生は修了式まで33日となります。6年生は、卒業プロジェクトとして学校のために・下級生のために・お世話になった人のために企画したことを実行に移してくれています。下級生は、現学年の学習のまとめに加え、6年生を送るための企画を考えてくれています。4年生は、委員会活動を始め、高学年の仲間入りをし、学校を支える側に回ります。誰もが今の使命を果たして、次の学年にステップアップしてください。